



第13回 第三文明展 花器 — 潮騒 —

倉園冠堂

工芸品は素地の堅牢性も、また重要な要件の一つである。特に木材工芸の素材としての木材は、異方性で、かつ、収縮、膨張による「狂い」の欠点をもっている。その欠点を除去したのが合板であり、ここでは素材としてシナ合板を用い、それに南方材のツキ板を挿入積層することにより、更に「狂い」を生じにくい改良木材に加工し、造形美的には、全体のフォルムは舟形のイメージに、又、それをスライド、デフォルメすることにより動きと変化を与え、積層によるリズムカルな線文の美しさを表わし、花器の池は蛤形を配してまとめ「潮騒」と題した。

20×50×22(cm)

於 東京都美術館